

ささやまの森公園だより



「チェンソーアート 田を鋤く牛」

制作 牛 脇塚 陸 / 鞍と鋤 倉掛 昌己

里山の森でチャー・チャー・チャー

里山について話す機会があり、「自然」と「文化」との関わりに触れました。ホワイトボードが用意されていたのでマーカーを手に、格好をつけて nature、行を変えて culture と書きました。説明をしながら並んでいる単語を目にしてハッと気づいたのです。どちらも -ture で終わっているのです。「自然」「文化」と漢字で書けば似た感じはしませんが、英語だと似ているのです。語頭の数文字が違う、それだけのことなのですが、それが妙に気になりました。

そこで語源を解説した辞書を引いてみました。どうやら na は「生まれる、生じる」を、cul は「耕す」を意味するようです。さらに語尾の -ture についてネットを見ていましたら、-ture で終わる単語リストを見つけました。数え方にもよるのですが 100 語ほどあるようです。

そのリストに影響されたのでしょうか、こんなことがふと浮かんできました。

里山の nature において営々と築きあげた culture も、時代を重ねるごとに structure を複雑にし、なかには nature を破壊することから、人類の future にとって不安なのですが、adventure になろうとも future に向けて果敢に挑んだ結果が culture など、森の中での自作の lecture。何やら文章が怪しくなってきました。

最後になりましたが、新年度、県立ささやまの森公園では「健康の維持、増進」をめざすプログラムづくりを新たな venture に加えました。どうぞご期待ください。

兵庫県立ささやまの森公園園長

花村 諭

森のステージが完成

シンボルの森整備事業(ささやまの森公園森のステージ設置)により、老朽化が目立ち使えなくなっていたステージを一新しました。ステージの床面積は3倍ほどになり、使い勝手の良いものになりました。



森の学校 第13期生の活動



今年度は、新型コロナウイルス感染防止の影響で開校式もようやく9月になってから始まりました。例年に比べ開催回数は少なくなりましたが、小学3年生～6年生までの9人が7か月間、コンニャク作り、深山登山、クリスマスリース作りなど、普段の生活とは

違う里山でのさまざまな自然体験活動を経験しました。



篠山東雲高校 「里山文化」の支援



「里山と人々の生活から生まれた多くの文化を学び、自然や資源、生きていく環境、農業との関わりについて考える」ことを目的として年間を通して開催される篠山東雲高校の選択授業「里山文化」を支援しました。





社会体験事業の 受け入れ

篠山東中学校

篠山中学校

コロナ禍で中止となった「トライやる・ウィーク」に代わる行事として、社会体験事業に参加した中学2年生の受け入れをしました。



写真・絵画コンテスト

「里山の自然や生きものを撮ろう、描こう」をテーマに第6回目となる写真・絵画コンテストを実施しました。野鳥や昆虫、自然風景などの魅力的な写真・絵画合わせて20点の応募がありました。応募作品の中から厳正なる審査の結果、写真の部入賞作品3点、絵画の部特別賞2点を選び森の道場で展示しました。



新たなプログラム を展開

新型コロナウイルス感染防止のため、4月～7月までに予定していたプログラムを中止せざるを得ない状況となりました。そんな中ではありますが、新たな体験プログラムの取組として、紙や段ボールを使ったお面づくりで1日を楽しむ「親子で楽しむ紙工作」、みつろうを使ってオリジナルろうソクを作る「みつろうでろうソクを作ろう」を展開し好評を得ました。

親子で楽しむ紙工作

みつろうでろうソクを作ろう



プログラム活動報告（抜粋）

4月～7月

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
7月末までの全てのプログラムが中止となりました。



8月8日

ささやまの森探検隊

公園内を流れる沢に入ってジャブジャブと源流部を目指して歩きました。



9月6日

囲炉裏テーブルを作ろう

アウトドアで大活躍の囲炉裏テーブルを作りました。



9月18日

草木で染めよう

～クルミ～

オニグルミの葉を煮出して、チョコレート色に染めました。



10月25日

スギ玉を作ろう（全2回）

第2回 ～スギ玉作り～

屋根付きスギ玉を作りました。



10月31日

そば道場シリーズ（全4回）

第2回 ～刈取～

そばを刈り取って干しました。





11月29日

シイタケづくり（全2回）

第1回 ～原木の伐採～

原木になるコナラを伐採し、玉切りにして運び出し、ほだ木にしました。



12月6日

森の時計作り

間伐材や木の枝を使って、家形の時計を作りました。



12月12日

しめ縄を作ろう

クリスマスにも使えるリース型とお正月用のメガネ型を作りました。



1月17日

こんにゃくを作ろう

こんにゃく芋を使って手作りこんにゃくを作りました。



2月14日

チェーンソー安全教室

専門家の指導で、チェーンソーの正しい使い方、木の切り方を学びました。



2月28日

黒豆のお味噌を作ろう

地元の黒豆を使って1人3キロの味噌を作りました。

団体プログラムの展開



幼稚園・小学校・中学校・高等学校や団体の活動・交流の場として公園を提供し、ウッドクラフトや自然観察などの体験プログラムを支援し、里山のすばらしさ大切さを広めました。

◆ウッドクラフト 5団体 158名

◆園内散策 6団体 83名

※森の学校、里山文化授業、社会体験事業の受入れを除く。



園外活動等への参加



活動スタッフさんの協力により、外部のイベントに参画し、ささやまの森公園の活動をPRしました。

2020 丹波の森フェスティバル

◆開催日 10月25日(日)

◆場 所 丹波の森公苑

◆内 容 ウッドバーニング





スタッフ活動に参加して



『ささやまの森公園プログラムの案内』を見せていただいて、[草木で染めよう]に興味湧き予約させて頂いたのが、ささやまの森公園と私のご縁の始まりです。私は隣の町に住んでいますが自宅から篠山への道中の景色はなんとも言えないくらい清々しく最高で大好きです。教えてくださる先生、一緒にスタッフ活動されてる方々、プログラムに参加されてる方々からプログラム以外にも色々な事を教わり人生の奥行きが深まり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

活動スタッフ 上 美津恵

里山の風景や自然が大好きで、よく！ささやまの森公園へ訪れます。月毎のプログラムの中の草木染め、スギ玉作り、蒔絵作りと親娘で参加しました。ものづくりの楽しさや、日頃出来ない貴重な体験など、素敵な時間を過ごさせていただいてます。スタッフの皆さん、事務局の皆さんは、とても気さくな方ばかりで親切にしてください。

スタッフにとお声かけ頂いて、私も活動スタッフになりました。先輩スタッフの皆さんの、知識やアイデアの引き出しは限りなくたくさんで、昔の暮らしの様に“自分の手で作る”ことを教えてもらえます。各プログラムのお手伝いをしながら、私も学んでいます。参加者の皆さんと和気藹々と夢中に作業したり、お話ししたり、完成発表したりと、笑顔いっぱいの楽しい時間になっています。いつも「わぁ！」って歓声上がる、そんなこのプログラムは、どれも素晴らしいです。色々な事を覚えながら、参加やお手伝いをして行きたいです。

活動スタッフ 中井 智詠

活動スタッフ募集

1年をととして、休みの日を中心に季節にあったプログラムを活動スタッフさんが中心になって展開しています。活動スタッフは、里山復元・里山伝承・里山体験・自然学習・レクリエーションの5班に分かれて活動します。

年間をととして受け付けていますので、興味のある方は事務局にお尋ねください。



ファン倶楽部員募集

公園の運営をご支援いただける個人・団体のファン倶楽部員（会員制）を募集しています。



【一般会員】（個人）

●年会費 1,000 円 ●特典 情報提供、特別行事参加

【ふるさと会員】（個人）

●年会費 10,000 円 ●特典 情報提供、特別行事参加、特産物（栗、枝豆、黒豆、山の芋）送付

【賛助会員】（団体）

●年会費 5,000 円 ●特典 情報提供、特別行事参加

【特別会員】（個人）

●年会費 10,000 円 ●特典 情報提供、一定エリアで継続的に森林保全ができる。

※詳しくは事務局にお尋ねください。

森の学校 第14期生 募集!

開催期間 令和3年 5月8日(土)～令和4年 3月5日(土)

年間を通じ10回の自然体験活動を行います。

活動場所 兵庫県立 ささやまの森公園 (お子様の送迎は保護者の方にてお願いします。)

対象年齢 小学新3年生～6年生
(山登りなど自力で自然体験活動ができる体力が必要です。)

募集人数 15名(先着順)

参加費 年間 5,000円(傷害保険料を含む)

申込期間 令和3年3月23日(火)～4月13日(火)必着

◇参加お申し込み・お問い合わせは事務局までお願いします。

豊かな自然の中で、
さまざまな体験活動
を通して、たくましく
生きる力を育てる。



里山クイズ



2月に公園内のエノキの木の根元で、落ち葉の裏で仲良く冬を越している、オオムラサキとゴマダラチョウの幼虫を見つけました。

さて、オオムラサキの幼虫はどちらでしょう。

① 上の方の幼虫 ② 下の方の幼虫

正解者には、抽選の上5名様に記念品をプレゼントします。

クイズの答えと住所・氏名・感想(誌面または公園に関する)を書いてハガキ・FAX・メールでささやまの森公園まで送ってください。(メ切: 令和3年4月30日)



オオムラサキ

森のささやき



昨年より「ささやまの森公園」でお世話になっていますが、こちらに勤務する前は屋内での職種についていました。いつの間にか季節が変わり1年が去っていく...。そんな日々を過ごしていましたが、こちらの公園にお世話になり季節感の濃い1年を過ごしています。

自然の中で暮らす生きものの姿や声、木々の色の移り変わりで心も癒されます。今年度は新型コロナウイルスの影響で、イベントや沢山のプログラムが中止となりましたが、その中でも一緒に参加させて頂いたプログラムでは、楽しみもあり学びもあり『魅力的だな』と感じました。何気なく過ぎ去っていた1年が今年度は四季の素晴らしさを感じられる1年になりました。

皆様にもぜひ、色々な季節に來園して頂き、また、イベントや色々なプログラムに参加して頂きながら「ささやまの森公園」の四季を楽しんでいただけたらと思っています。

今、人間の世界では新型コロナウイルスが猛威をふるっていますが、野鳥の世界でも鳥インフルエンザ、イノシシの世界でも豚熱(トシコレラ)で、ウイルスの脅威にさらされています。

そんなウイルス疲れの中、森の中で生きものの息吹に耳をすませてみると、少しずつ元気になる気がします。そしてふと河合雅雄先生が以前言われていた言葉を思い出します。『森の中に身をおくと生命力みたいなものが湧き上がってくる』。今年は多くの来園者の方々が、湧き上がる生命力みたいなものの量を増やせる工夫ができればと思いました。

※河合雅雄先生…丹波篠山市出身。霊長類学者。



第24号 ささやまの森公園だより(年1回発行)

◇発行日/令和3年(2021年)3月23日

◇発行/(公財)兵庫丹波の森協会
兵庫県立ささやまの森公園

〒669-2512

兵庫県丹波篠山市川原511-1

TEL(079)557-0045/FAX(079)557-0201

Eメール: csr@sasayamanomori.jp

ホームページ: <http://www.sasayamanomori.jp/>

